

平成 2 1 年度
山梨県公立高等学校入学者選抜
に関する意識調査の結果概要

山梨県教育庁新しい学校づくり推進室

平成21年度山梨県公立高等学校入学者選抜に関する意識調査の結果

〔大月短期大学附属高等学校及び甲陵高等学校を除く全日制課程〕

調査の概要

1 調査の目的

平成21年度の入学者選抜について、この制度を経験した高校1年生とその保護者の意見や考えを把握し、今後の入学者選抜の改善のための資料を得ることを目的とする。

2 調査項目

調査項目	
・前期募集についてどう思うか	(問 1)
・前期募集についてよいと思う理由	(問 2)
・前期募集についてよくないと思う理由	(問 3)
・前期募集に出願したか	(問 4)
・前期募集へ出願した理由	(問 5)
・前期募集で合格内定になったか	(問 6)
・前期募集不合格に対する意識	(問 7)
・後期募集でどのような学校・学科に出願したか	(問 8)
・前期募集・後期募集で別の学科、別の高校に出願した理由	(問 9)
・後期募集にのみ出願した理由	(問10)
・「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思うか	(問11)
・「前期募集選抜方法」で選抜資料比重を示したが、それについてどう思うか	(問12)
・前期募集の募集率についてどう思うか	(問13)
・高校を決定する上で参考になったものは何か	(問14)

3 調査対象

13,318人

全日制県立高校及び市立甲府商業高校の1年生全員 6,659人

上記高校1年生の保護者 6,659人

4 調査方法

全日制県立高校及び市立甲府商業高校の計30校を通じて実施(全数調査)

5 調査時期

平成21年4月実施

6 回収結果

調査対象	配付数	回収数	回収率
高校1年生	6,659	6,614	99.3%
高校1年生保護者	6,659	6,584	98.9%
合計	13,318	13,198	99.1%
	(H20) [13,488]	[13,334]	[98.9]
	(H19) [13,698]	[13,524]	[98.7]

参考

・比率(%)は、各項目ごとに小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

・複数回答による項目では、回答者数に対する回答数で比率を算定している。

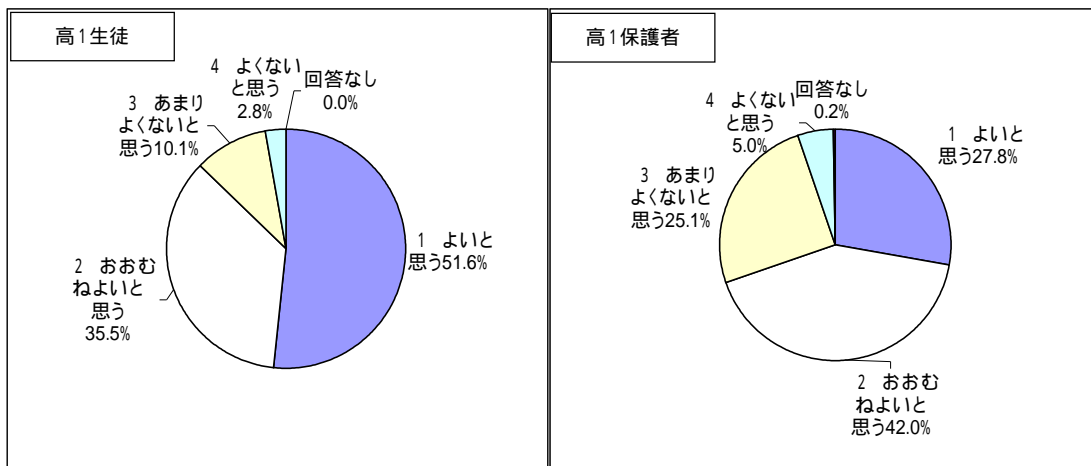
調査結果

問1 すべての人にお聞きします。

平成19年度入学者選抜から従来の「推薦入学」にかわり「自己推薦」による前期募集となりました。この前期募集についてどう思いますか。(つぎの中から1つ選んでください)

- よいと思う
- おおむねよいと思う
- あまりよくないと思う
- よくないと思う

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よいと思う	3,414	51.6%	1,830	27.8%	5,244	39.7%
2 おおむねよいと思う	2,347	35.5%	2,763	42.0%	5,110	38.7%
3 あまりよくないと思う	668	10.1%	1,651	25.1%	2,319	17.6%
4 よくないと思う	182	2.8%	326	5.0%	508	3.8%
回答なし	3	0.0%	14	0.2%	17	0.1%
計	6,614	100.0%	6,584	100.0%	13,198	100.0%



【今回の調査結果】 前期募集についての意識

今年度の傾向

- ・生徒は、87.1%が「よいと思う」、「おおむねよいと思う」と回答した。一方、12.9%が「あまりよくないと思う」、「よくないと思う」と回答した。
- ・保護者は、69.8%が「よいと思う」、「おおむねよいと思う」と回答した。一方、30.1%が「あまりよくないと思う」、「よくないと思う」と回答した。
- ・生徒と保護者を合わせると、全体の78.4%が前期募集に対して肯定的であり、21.4%が否定的で

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 よいと思う	34.6%	20.4%	27.5%	43.5%	23.8%	33.7%	51.6%	27.8%	39.7%
2 おおむねよいと思う	39.7%	35.3%	37.5%	38.7%	40.6%	39.6%	35.5%	42.0%	38.7%
3 あまりよくないと思う	19.9%	34.5%	27.1%	13.9%	28.5%	21.1%	10.1%	25.1%	17.6%
4 よくないと思う	5.6%	9.6%	7.6%	3.8%	6.8%	5.3%	2.8%	5.0%	3.8%
回答なし	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%	0.4%	0.2%	0.0%	0.2%	0.1%

- ・制度導入初年度に比べ、肯定的な意見(「よいと思う」と「おおむねよいと思う」)が年々増加してきている。
- ・否定的な意見(「あまりよくないと思う」と「よくないと思う」)は、生徒では半減している。
- ・前期募集は、肯定的に受け入れられている。

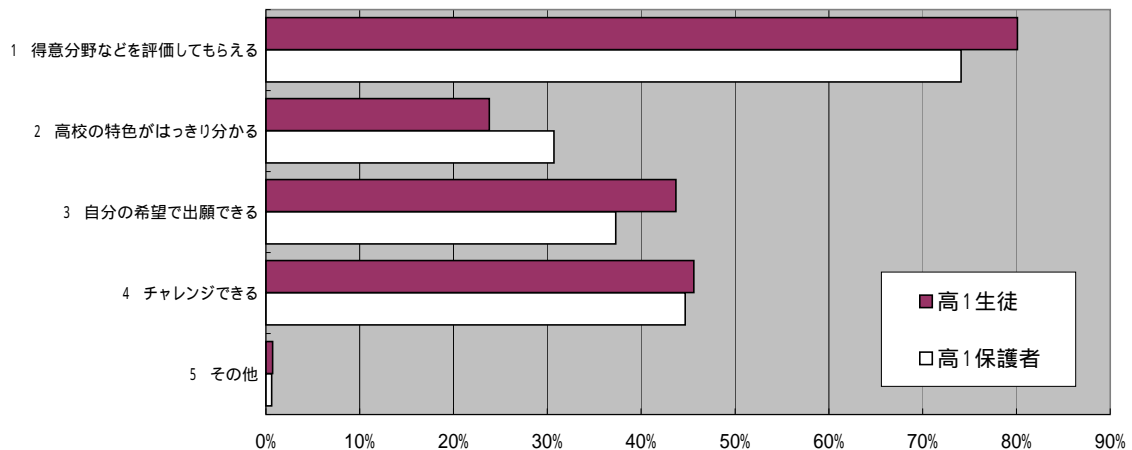
問2 問1で または と(前期募集に肯定的な)回答をした人にお聞きます。

よいと思う理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで答えてください)

- 自分の得意分野や能力、適性、日頃の努力などを評価してもらえる
- 各高校の特色がはっきり分かるようになって、入学したい高校がみつけやすくなった
- 中学校長の推薦によらず、自分の希望で出願できる
- 不合格になっても後期募集があり、入学したい学校にチャレンジできる
- その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 得意分野などを評価してもらえる	4,616	80.1%	3,403	74.1%	8,019	77.4%
2 高校の特色がはっきり分かる	1,371	23.8%	1,409	30.7%	2,780	26.8%
3 自分の希望で出願できる	2,518	43.7%	1,714	37.3%	4,232	40.9%
4 チャレンジできる	2,629	45.6%	2,052	44.7%	4,681	45.2%
5 その他	40	0.7%	27	0.6%	67	0.6%
回答なし	10	0.2%	13	0.3%	23	0.2%
回答者数	5,761		4,593		10,354	



【今回の調査結果】

肯定的回答をした人の前期募集についてよいと思う理由

今年度の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「得意分野などを評価してもらえる」80.1%、「入学したい学校にチャレンジできる」45.6%、「自分の希望で出願できる」43.7%であった。
- ・保護者も生徒同様、「得意分野などを評価してもらえる」74.1%、「入学したい学校にチャレンジできる」44.7%、「自分の希望で出願できる」37.3%であった。
- ・生徒、保護者共に、「得意分野などを評価してもらえる」が他の回答の割合に比べて高かった。

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 得意分野などを評価してもらえる	68.7%	69.5%	69.1%	78.1%	74.1%	76.4%	80.1%	74.1%	77.4%
2 高校の特色がはっきり分かる	21.4%	28.9%	24.6%	20.6%	30.7%	25.0%	23.8%	30.7%	26.8%
3 自分の希望で出願できる	53.9%	44.3%	49.8%	43.1%	40.2%	41.8%	43.7%	37.3%	40.9%
4 チャレンジできる	47.2%	43.1%	45.5%	50.0%	41.6%	46.4%	45.6%	44.7%	45.2%
5 その他	1.0%	1.0%	1.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%
回答なし	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%	0.4%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%

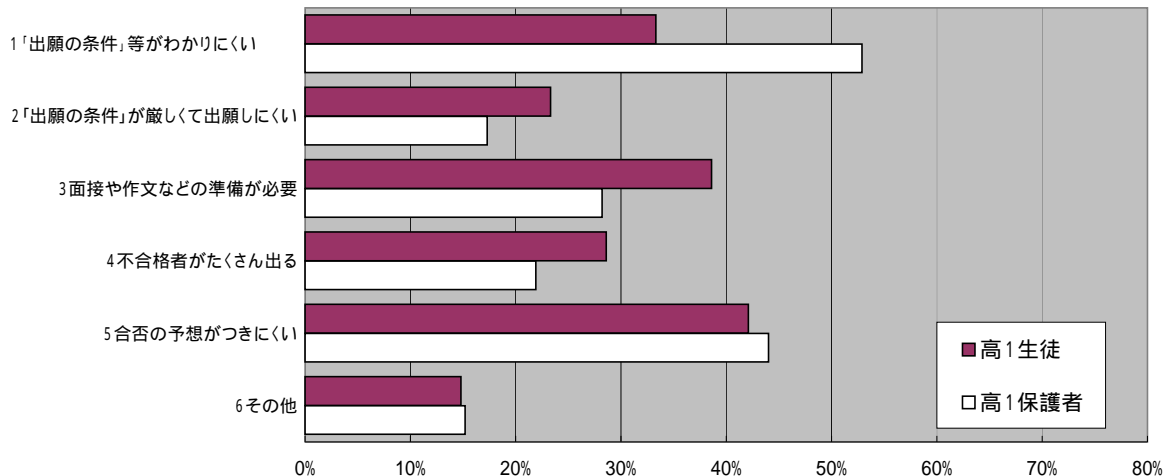
- ・調査結果については、毎年度ほぼ同様の結果となっている。
- ・3年間を通じ、「得意分野などを評価してもらえる」を理由としてあげた回答が他の割合に比べて高くなっている。

問3 問1で または と(前期募集に否定的な)回答をした人にお聞きします。
よくないと思う理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで教えてください)

- 高校が示す「志願してほしい生徒像」や「出願の条件」がわかりにくい
- 高校が示す「出願の条件」が厳しくて出願しにくい
- 後期募集の学力検査の準備の他に、面接や作文などの準備が必要である
- 志願者が多いと不合格者がたくさん出る
- 合否の予想がつきにくい
- その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 出願の条件等がわかりにくい	283	33.3%	1,046	52.9%	1,329	47.0%
2 出願の条件が厳しくて出願しにくい	198	23.3%	342	17.3%	540	19.1%
3 面接や作文などの準備が必要	328	38.6%	557	28.2%	885	31.3%
4 不合格者がたくさん出る	243	28.6%	432	21.9%	675	23.9%
5 合否の予想がつきにくい	358	42.1%	870	44.0%	1,228	43.4%
6 その他	126	14.8%	300	15.2%	426	15.1%
回答なし	7	0.8%	38	1.9%	45	1.6%
回答者数	850		1,977		2,827	



[今回の調査結果]

否定的回答をした人の前期募集についてよくないと思う理由

今年度の傾向

- ・生徒の回答が多かったのは、「合否の予想がつきにくい」42.1%、「面接や作文などの準備が必要」38.6%、「出願の条件等がわかりにくい」33.3%であった。
- ・保護者の回答が多かったのは、「出願の条件等がわかりにくい」52.9%、「合否の予想がつきにくい」44.0%、「面接や作文などの準備が必要」28.2%であった。
- ・「出願の条件等がわかりにくい」については、保護者の回答が生徒に比べ特に高かった。

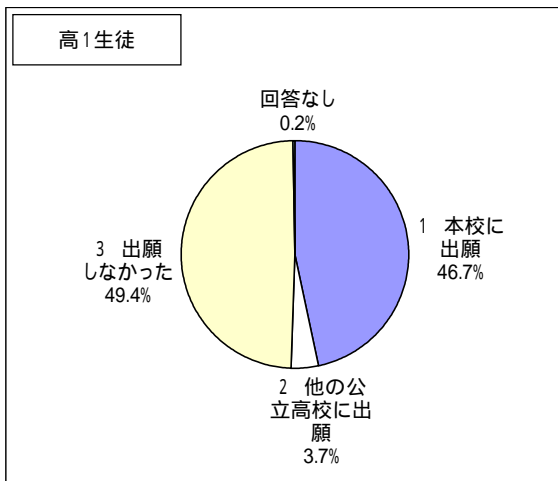
3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 出願の条件等がわかりにくい	31.2%	57.9%	48.1%	30.9%	56.4%	47.7%	33.3%	52.9%	47.0%
2 出願の条件が厳しくて出願しにくい	22.1%	17.6%	19.2%	23.2%	17.8%	19.7%	23.3%	17.3%	19.1%
3 面接や作文などの準備が必要	28.7%	21.9%	24.4%	35.6%	27.4%	30.2%	38.6%	28.2%	31.3%
4 不合格者がたくさん出る	44.2%	29.6%	34.9%	36.8%	23.2%	27.8%	28.6%	21.9%	23.9%
5 合否の予想がつきにくい	49.2%	44.0%	45.9%	43.4%	44.4%	44.1%	42.1%	44.0%	43.4%
6 その他	11.2%	13.0%	12.3%	13.4%	12.7%	12.9%	14.8%	15.2%	15.1%
回答なし	0.7%	1.0%	0.9%	0.5%	1.1%	0.9%	0.8%	1.9%	1.6%

- ・調査結果については、毎年度ほぼ同様の結果となっている。
- ・生徒、保護者とも「面接や作文などの準備が必要」を選択する割合は、年々増加している。
- ・「出願の条件等がわかりにくい」の割合が高いことから、今後も制度の周知を図るとともに、記載内容等をより一層わかりやすい表現にする等の工夫が必要である。

問4 すべての人にお聞きします。
 あなたは、前期募集に出願しましたか。
 (つぎの中から1つ選んでください)
 本校に出願した
 他の公立高校に出願した
 出願しなかった

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 本校に出願	3,092	46.7%
2 他の公立高校に出願	247	3.7%
3 出願しなかった	3,265	49.4%
回答なし	10	0.2%
計	6,614	100.0%



【今回の調査結果】
 前期募集への出願の割合

今年度の傾向

・生徒の50.4%が前期募集に出願した。入学した高校とは別の高校の前期募集に出願した生徒は、3.7%であった。

3年間の傾向

選択肢	平成19年	平成20年	平成21年
	高1生徒	高1生徒	高1生徒
1 本校に出願	57.7%	46.6%	46.7%
2 他の公立高校に出願	6.3%	3.5%	3.7%
3 出願しなかった	35.7%	49.7%	49.4%
回答なし	0.3%	0.2%	0.2%

・制度導入初年度は64%の生徒が前期募集に出願したが、2年目、3年目は50%となっている。
 ・出願した生徒の割合は、2～3年目が横ばいとなっており、出願率は落ち着いてきている。
 ・生徒の約半数が前期募集に出願しており、受検機会の複数化、多様な尺度による選抜という制度の趣旨は生かされている。

問5 問4で または (前期募集に出席した)と回答した人にお聞きします。

あなたが、前期募集に出席した理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで答えてください)

どうしても入学したい学校・学科(コース)だったから

受検機会を最大限生かそうと思ったから

入学したい高校の「出願条件」などが自分に当てはまり、得意なことが生かせると思ったから

前期募集の募集人員が従来の推薦入試に比べ増えたから

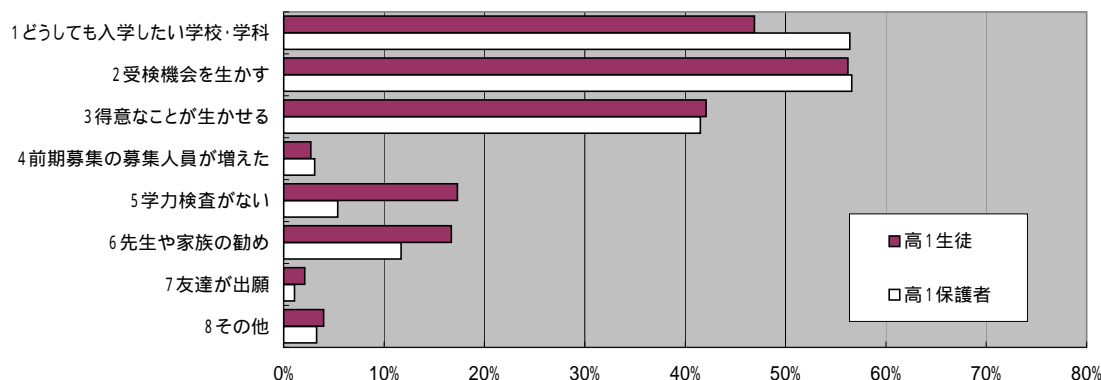
学力検査がないから

先生や家族に勧められたから

友達が出願するから

その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 どうしても入学したい学校・学科	1,566	46.9%	1,885	56.4%	3,451	51.6%
2 受検機会を生かす	1,876	56.2%	1,891	56.6%	3,767	56.4%
3 得意なことが生かせる	1,407	42.1%	1,388	41.5%	2,795	41.8%
4 前期募集の募集人員が増えた	89	2.7%	102	3.1%	191	2.9%
5 学力検査がない	576	17.3%	180	5.4%	756	11.3%
6 先生や家族の勧め	559	16.7%	390	11.7%	949	14.2%
7 友達が出願	69	2.1%	37	1.1%	106	1.6%
8 その他	132	4.0%	110	3.3%	242	3.6%
回答なし	13	0.4%	15	0.4%	28	0.4%
回答者数	3,339		3,343		6,682	



【今回の調査結果】
前期募集への出願理由

今年度の傾向

・生徒の回答が多かったのは、「受検機会を生かす」56.2%、次いで、「どうしても入学したい学校・学科だった」46.9%、「得意なことが生かせる」42.1%であった。また、保護者に比べて「学力検査がない」、「先生や家族に勧められた」との回答も一定の割合があった。

・保護者では、「受検機会を生かす」が56.6%、「どうしても入学したい学校・学科だった」56.4%、「得意なことが生かせる」41.5%であった。生徒に比べて、「どうしても入学したい学校・学科だった」と回答した割合が高かった。

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 どうしても入学したい学校・学科	47.6%	55.4%	51.5%	41.7%	56.6%	49.1%	46.9%	56.4%	51.6%
2 受検機会を生かす	57.3%	59.4%	58.4%	59.8%	57.1%	58.4%	56.2%	56.6%	56.4%
3 得意なことが生かせる	39.0%	38.1%	38.5%	41.0%	40.9%	40.9%	42.1%	41.5%	41.8%
4 前期募集の募集人員が増えた	6.9%	9.2%	8.1%	4.1%	4.2%	4.2%	2.7%	3.1%	2.9%
5 学力検査がない	16.6%	5.0%	10.8%	19.7%	5.9%	12.9%	17.3%	5.4%	11.3%
6 先生や家族の勧め	13.8%	8.5%	11.1%	15.9%	9.8%	12.8%	16.7%	11.7%	14.2%
7 友達が出願	2.4%	1.5%	1.9%	2.0%	1.4%	1.7%	2.1%	1.1%	1.6%
8 その他	3.6%	3.3%	3.5%	3.2%	2.6%	2.9%	4.0%	3.3%	3.6%
回答なし	0.2%	0.7%	0.4%	0.2%	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%

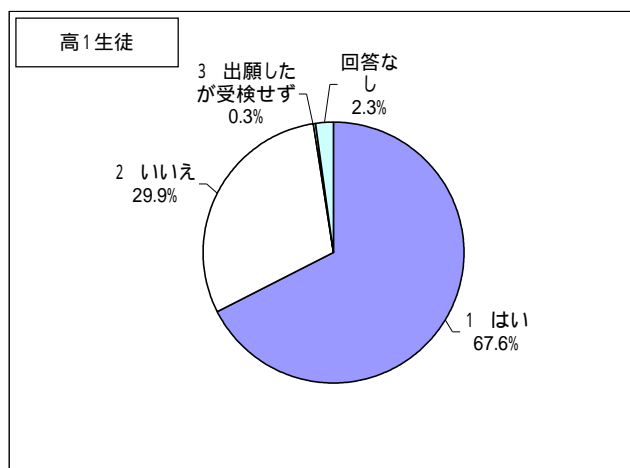
・調査結果については、毎年度ほぼ同様の結果となっている。

・生徒、保護者とも「受検機会を生かす」、「どうしても入学したい学校・学科だった」、「得意なことが生かせる」が出願理由の上位となっており、制度の趣旨が理解された回答が多くなっている。

問6 問4で または（前期募集に願った）と回答した人にお聞きます。
前期募集で合格内定になりましたか。
(つぎの中から1つ選んでください)

- はい
- いいえ
- 願ったが受検しなかった

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 はい	2,256	67.6%
2 いいえ	997	29.9%
3 願ったが受検せず	10	0.3%
回答なし	76	2.3%
計	3,339	100.0%



【今回の調査結果】
前期募集における合格内定者の割合

今年度の傾向

・前期募集に願った生徒のうち、67.6%が前期募集で内定となった。一方、29.9%の生徒は前期募集で内定とならなかったと回答した。

3年間の傾向

選択肢	平成19年	平成20年	平成21年
	高1生徒	高1生徒	高1生徒
1 はい	53.1%	66.5%	67.6%
2 いいえ	45.3%	31.4%	29.9%
3 願ったが受検せず	0.1%	0.2%	0.3%
回答なし	1.5%	1.9%	2.3%

・内定者は、制度導入初年度は願者の半分程度であったが、2年目以降は2 / 3の生徒が内定となっており、内定率は上昇している。

問7 問6で（前期募集で合格内定とならなかった）と回答した人にお聞きます。

前期募集で合格内定にならなかったことに、どんな感想を持ちましたか。

（つぎの中から1つ選んでください）

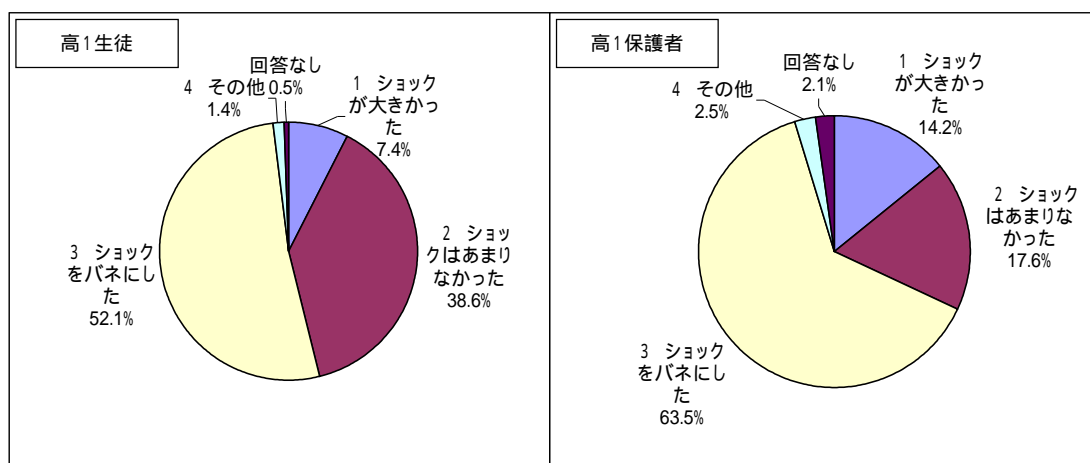
ショックが大きく、その後の学習や学校選択に支障をきたした

ショックはあまりなかった

ショックはあったがそれをバネにして学習に取り組んだ

その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 ショックが大きかった	74	7.4%	142	14.2%	216	10.8%
2 ショックはあまりなかった	385	38.6%	176	17.6%	561	28.1%
3 ショックをバネにした	519	52.1%	634	63.5%	1,153	57.8%
4 その他	14	1.4%	25	2.5%	39	2.0%
回答なし	5	0.5%	21	2.1%	26	1.3%
計	997	100.0%	998	100.0%	1,995	100.0%



【今回の調査結果】
前期募集不合格の意識

今年度の傾向

- ・生徒の38.6%が「ショックはあまりなかった」、52.1%が「ショックをバネにした」と回答した。一方、「ショックが大きくその後の学習や学校選択に支障をきたした」と回答した人は、7.4%であった。
- ・保護者の17.6%が「ショックはあまりなかった」、63.5%が「ショックをバネにした」と回答した。一方、「ショックが大きくその後の学習や学校選択に支障をきたした」と回答した人は、14.2%であった。

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 ショックが大きかった	8.5%	17.2%	12.8%	5.5%	13.8%	9.6%	7.4%	14.2%	10.8%
2 ショックはあまりなかった	43.2%	18.5%	31.0%	43.8%	16.0%	30.0%	38.6%	17.6%	28.1%
3 ショックをバネにした	45.3%	60.1%	52.7%	47.4%	63.8%	55.5%	52.1%	63.5%	57.8%
4 その他	2.5%	3.5%	3.0%	2.4%	3.1%	2.8%	1.4%	2.5%	2.0%
回答なし	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%	3.3%	2.1%	0.5%	2.1%	1.3%

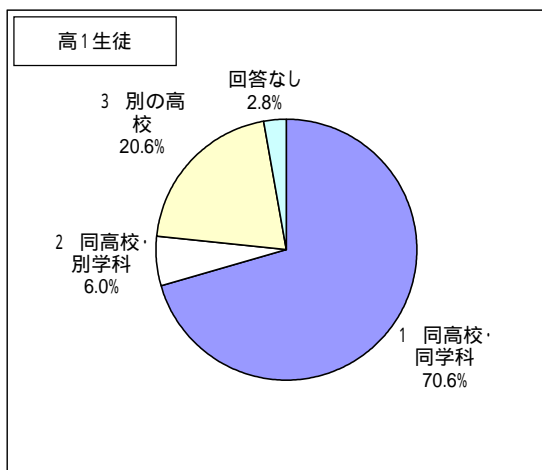
- ・調査結果については、毎年度ほぼ同様の結果となっている。
- ・生徒と保護者で前期募集の不合格の捉え方に若干の開きはあるが、生徒は前期募集における不合格を比較的冷静に受け止めている。
- ・今後も各中学校において、不合格者に対する適切な事後指導が行えるように改善を図っていく。

問8 問6で（前期募集で合格内定とならなかった）と回答した人にお聞きます。
後期募集ではどのような学校・学科に出願しましたか。

（つぎの中から1つ選んでください）

- 前期募集で出願した高校と同じ高校の同じ学科(コース)
- 前期募集で出願した高校と同じ高校の別の学科(コース)
- 前期募集で出願した高校とは別の高校

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 同高校・同学科	704	70.6%
2 同高校・別学科	60	6.0%
3 別の高校	205	20.6%
回答なし	28	2.8%
計	997	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集不合格者の後期募集の出願先

今年度の傾向

・生徒の76.6%が同一の高校へ出願した。前期とは別の学科に出願した生徒は6.0%、別の高校へ出願した生徒は20.6%であった。

3年間の傾向

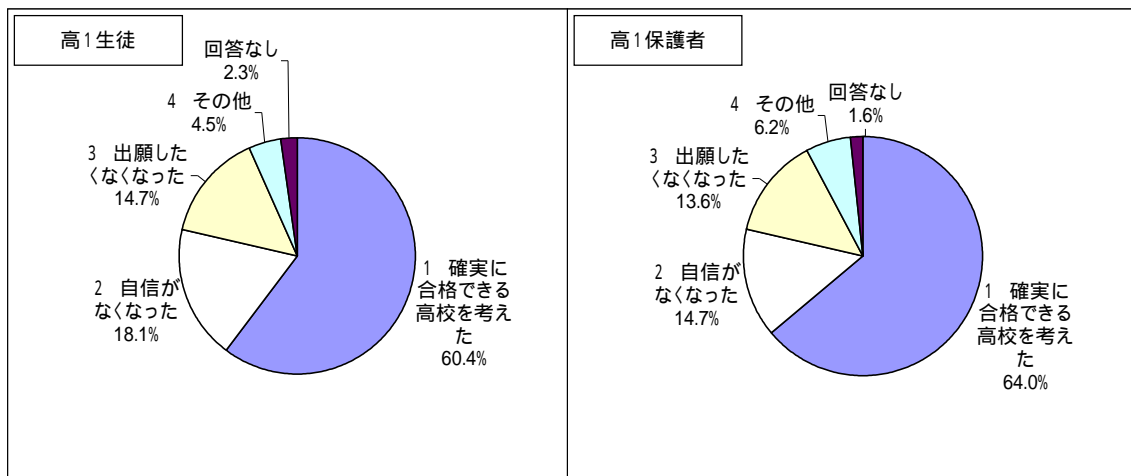
選択肢	平成19年	平成20年	平成21年
	高1生徒	高1生徒	高1生徒
1 同高校・同学科	69.3%	72.0%	70.6%
2 同高校・別学科	3.8%	5.4%	6.0%
3 別の高校	16.8%	19.3%	20.6%
回答なし	10.2%	3.4%	2.8%

・毎年7割程度の生徒が前期募集と同一の高校に出願しており、受検機会の複数化を目指した新たな入学者選抜制度は、希望する高校へのチャレンジの機会として活用されている。

問9 問8で または（後期募集で前期と異なる学校・学科に出願した）と回答した人にお聞きします。あなたが、前期募集・後期募集で別の学科又は別の高校に出願した理由は何ですか。（つぎの中から1つ選んでください）

前期募集では可能性にかけ、後期募集では確実に合格できる高校・学科を考えたから
 前期募集で合格内定とならなかったため、同じ学科、同じ高校に出願する自信がなくなったから
 前期募集で合格内定とならなかった学科・高校に、出願したくなったから
 その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 確実に合格できる高校を考えた	160	60.4%	165	64.0%	325	62.1%
2 自信がなくなった	48	18.1%	38	14.7%	86	16.4%
3 出願したくなった	39	14.7%	35	13.6%	74	14.1%
4 その他	12	4.5%	16	6.2%	28	5.4%
回答なし	6	2.3%	4	1.6%	10	1.9%
計	265	100.0%	258	100.0%	523	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集・後期募集で別の学科、別の高校に出願した理由

今年度の傾向

- ・生徒の60.4%が「確実に合格できる高校を考えた」と回答した。
- ・保護者も、64.0%が「確実に合格できる高校を考えた」とする回答が最も多かった。

3年間の傾向

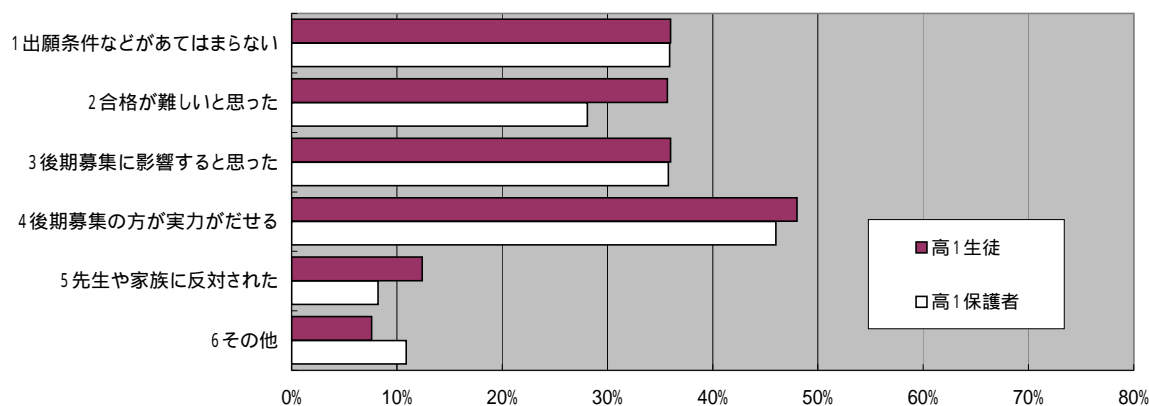
選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 確実に合格できる高校を考えた	64.5%	60.9%	62.8%	68.4%	61.4%	64.9%	60.4%	64.0%	62.1%
2 自信がなくなった	16.1%	15.5%	15.8%	13.6%	19.3%	16.4%	18.1%	14.7%	16.4%
3 出願したくなった	10.3%	15.0%	12.5%	7.4%	10.2%	8.8%	14.7%	13.6%	14.1%
4 その他	7.2%	7.2%	7.2%	8.5%	6.4%	7.5%	4.5%	6.2%	5.4%
回答なし	1.9%	1.3%	1.6%	2.2%	2.7%	2.4%	2.3%	1.6%	1.9%

・別の学科、別の高校に出願した生徒、保護者は、後期募集では合格を優先させる傾向が見られる。

問10 問4で（前期募集に申し出ないで、後期募集のみに申し出した）と回答した人にお聞きします。
あなたが、前期募集に申し出ないで、後期募集のみに申し出した理由は何ですか。
（当てはまるものを2つまで教えてください）

入学したい高校の「前期募集の応募条件」などが自分に当てはまらないと思ったから
前期募集は倍率が高くなりそうで、合格が難しいと思ったから
万一、不合格になるとショックが大きく、後期募集に影響すると思ったから
後期募集（学力検査）の方が実力を発揮できると思ったから
先生や家族に反対されたから
その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 出願条件などがあてはまらない	1,177	36.0%	1,157	35.9%	2,334	36.0%
2 合格が難しいと思った	1,166	35.7%	905	28.1%	2,071	31.9%
3 後期募集に影響すると思った	1,177	36.0%	1,154	35.8%	2,331	35.9%
4 後期募集の方が実力がだせる	1,568	48.0%	1,483	46.0%	3,051	47.0%
5 先生や家族に反対された	404	12.4%	264	8.2%	668	10.3%
6 その他	249	7.6%	350	10.9%	599	9.2%
回答なし	157	4.8%	145	4.5%	302	4.7%
回答者数	3,265		3,225		6,490	



【今回の調査結果】
後期募集にのみ出願した理由

今年度の傾向

・生徒の回答が多かったのは、「後期募集の方が実力が出せる」48.0%、「出願条件などがあてはまらない」36.0%、「後期募集に影響すると思った」36.0%、「合格が難しいと思った」35.7%であった。
・保護者の回答が多かったのは、「後期募集の方が実力が出せる」46.0%、次いで「出願条件などがあてはまらないと思った」35.9%、「後期募集に影響すると思った」35.8%であった。「合格が難しいと思った」は28.1%であった。

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 出願条件などがあてはまらない	36.5%	44.3%	40.4%	36.6%	35.9%	36.2%	36.0%	35.9%	36.0%
2 合格が難しいと思った	49.8%	36.2%	43.1%	39.8%	32.1%	36.0%	35.7%	28.1%	31.9%
3 後期募集に影響すると思った	35.2%	32.0%	33.6%	35.9%	36.5%	36.2%	36.0%	35.8%	35.9%
4 後期募集の方が実力が出せる	41.8%	43.0%	42.4%	44.3%	43.8%	44.1%	48.0%	46.0%	47.0%
5 先生や家族に反対されて	11.1%	8.6%	9.9%	12.6%	9.1%	10.8%	12.4%	8.2%	10.3%
6 その他	8.5%	10.2%	9.4%	8.4%	9.7%	9.1%	7.6%	10.9%	9.2%
回答なし	1.2%	1.8%	1.5%	4.2%	3.0%	3.6%	4.8%	4.5%	4.7%

・生徒、保護者とも「合格が難しいと思った」と回答した割合は年々減少しており、「後期募集の方が実力が出せる」と回答した割合は年々増加している。
・全体として、前期募集、後期募集それぞれの特徴や趣旨を理解した受験傾向となっている。

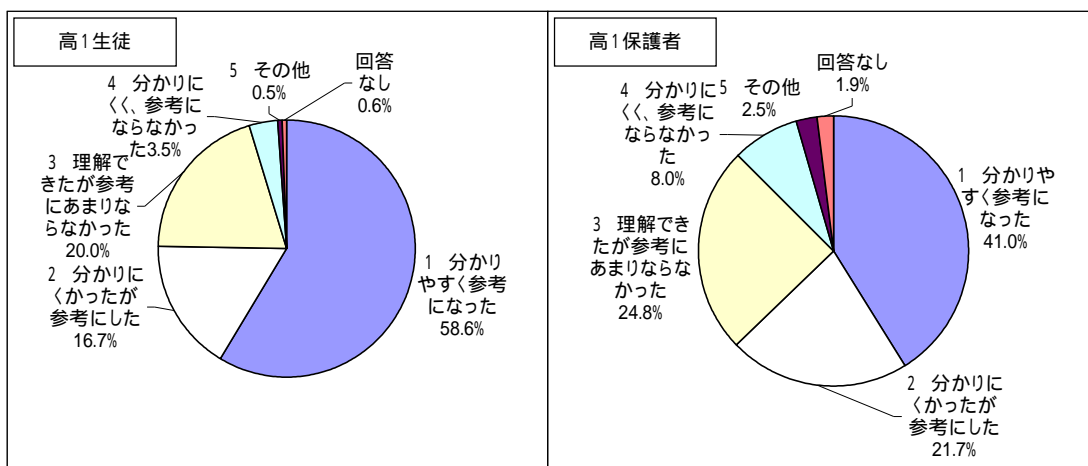
問11 すべての人にお聞きします。

各高校が示した「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思いますか。

(つぎの中から1つ選んでください)

- とても分かりやすく、志望校決定の参考になった
- 分かりにくかったが、志望校決定の参考にした
- 理解できたが、参考にあまりならなかった
- 分かりにくく、参考にならなかった
- その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 分かりやすく参考になった	3,879	58.6%	2,698	41.0%	6,577	49.8%
2 分かりにくかったが参考にした	1,104	16.7%	1,430	21.7%	2,534	19.2%
3 理解できたが参考にあまりならなかった	1,325	20.0%	1,635	24.8%	2,960	22.4%
4 分かりにくく、参考にならなかった	231	3.5%	529	8.0%	760	5.8%
5 その他	34	0.5%	164	2.5%	198	1.5%
回答なし	41	0.6%	128	1.9%	169	1.3%
計	6,614	100.0%	6,584	100.0%	13,198	100.0%



【今回の調査結果】

「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」について

今年度の傾向

- ・「分かりやすく参考になった」と回答した割合は、生徒58.6%、保護者41.0%で、全体で49.8%となり、最も回答が多かった。
- ・「分かりやすく参考になった」と「分かりにくかったが参考にした」を合わせると、生徒が75.3%、保護者が62.7%で、全体の69.0%が何らかの形で志望校決定の参考にした。
- ・一方、「理解できたが参考にあまりならなかった」と「分かりにくく、参考にならなかった」は、生徒23.5%、保護者32.8%であった。

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 分かりやすく参考になった	44.7%	26.3%	35.5%	52.0%	36.1%	44.1%	58.6%	41.0%	49.8%
2 分かりにくかったが参考にした	24.8%	32.4%	28.6%	20.2%	24.6%	22.4%	16.7%	21.7%	19.2%
3 理解できたが参考にあまりならなかった	22.6%	23.1%	22.9%	21.9%	25.7%	23.8%	20.0%	24.8%	22.4%
4 分かりにくく、参考にならなかった	6.8%	14.2%	10.5%	4.9%	9.5%	7.2%	3.5%	8.0%	5.8%
5 その他	0.5%	2.5%	1.5%	0.5%	2.0%	1.2%	0.5%	2.5%	1.5%
回答なし	0.6%	1.6%	1.1%	0.5%	2.1%	1.3%	0.6%	1.9%	1.3%

・生徒、保護者とも「わかりやすく参考になった」と回答した割合は年々増加している。しかし、「参考にならなかった」と回答した割合も減少傾向にあるものの、3割近くあり、今後もより一層制度の周知を行い、各高校において公表内容を分かりやすくしていく必要がある。

問12 すべての人にお聞きします。

各高校が示した「前期募集選抜方法」では調査書、面接等選抜資料の比重を示しましたが、それについてどう思いますか。

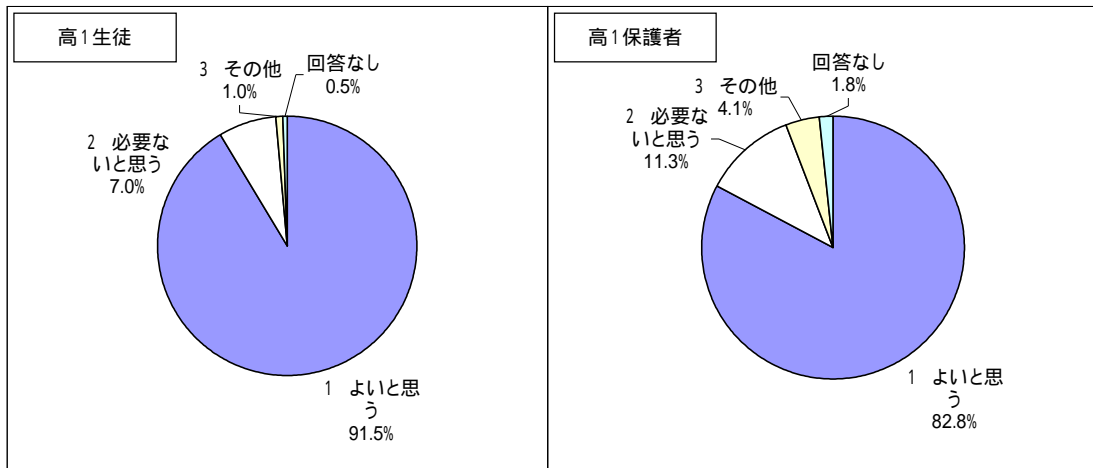
(つぎの中から1つ選んでください)

よいと思う

必要ないと思う

その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よいと思う	6,051	91.5%	5,453	82.8%	11,504	87.2%
2 必要ないと思う	464	7.0%	743	11.3%	1,207	9.1%
3 その他	66	1.0%	271	4.1%	337	2.6%
回答なし	33	0.5%	117	1.8%	150	1.1%
計	6,614	100.0%	6,584	100.0%	13,198	100.0%



【今回の調査結果】

「前期募集選抜方法」で示した選抜資料比重について

今年度の傾向

・調査書、面接、作文、特技、個性表現をどの程度重視するのか、その比重を事前に示したが、生徒の91.5%、保護者の82.8%が「よいと思う」と回答し、「必要ないと思う」と回答したのは生徒が7.0%、保護者が11.3%であった。

初年度については「どちらともいえない」の選択肢あり

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 よいと思う	52.5%	42.2%	47.3%	89.4%	80.8%	85.1%	91.5%	82.8%	87.2%
2 必要ないと思う	3.6%	6.4%	5.0%	9.1%	12.5%	10.8%	7.0%	11.3%	9.1%
3 その他(どちらともいえない)	43.3%	50.6%	47.0%	1.2%	4.5%	2.8%	1.0%	4.1%	2.6%
回答なし	0.6%	0.8%	0.7%	0.4%	2.2%	1.3%	0.5%	1.8%	1.1%

・選抜資料の比重を公開することは、出願時の目安となるとともに、透明な選抜の実施が確保されることから、概ね良好な結果となっている。

問13 すべての人にお聞きします。

あなたが入学した学科の前期募集の募集率についてどう思いますか。

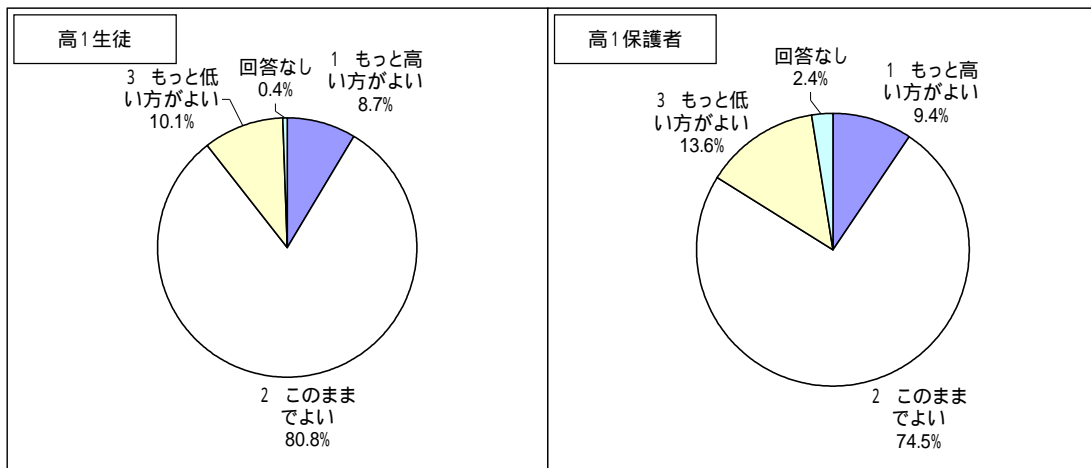
(つぎの中から1つ選んでください)

もっと高い方がよい

このままでよい

もっと低い方がよい

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 もっと高い方がよい	575	8.7%	618	9.4%	1,193	9.0%
2 このままでよい	5,346	80.8%	4,907	74.5%	10,253	77.7%
3 もっと低い方がよい	665	10.1%	898	13.6%	1,563	11.8%
回答なし	28	0.4%	161	2.4%	189	1.4%
計	6,614	100.0%	6,584	100.0%	13,198	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集の募集率について

今年度の傾向

- ・生徒の80.8%、保護者の74.5%が「このままでよい」と回答した。
- ・また、「もっと低い方がよい」は生徒 10.1%、保護者13.6%、「もっと高い方がよい」は生徒8.7%、保護者9.4%であった。

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 もっと高い方がよい	9.1%	11.5%	10.3%	7.8%	9.9%	8.9%	8.7%	9.4%	9.0%
2 このままでよい	75.9%	67.9%	71.9%	81.1%	73.7%	77.4%	80.8%	74.5%	77.7%
3 もっと低い方がよい	14.3%	18.0%	16.1%	10.8%	13.6%	12.2%	10.1%	13.6%	11.8%
回答なし	0.6%	2.7%	1.7%	0.3%	2.8%	1.6%	0.4%	2.4%	1.4%

- ・調査結果については、毎年度ほぼ同様の結果となっており、現行の比率が概ね支持されている。

問14 すべての人にお聞きします。

受検する高校を決定する上で、最も参考になったのはどれですか。

(当てはまるものを2つまで答えてください)

オープンスクール(体験入学)

学校説明会

高校のホームページ

中学校の先生の紹介

高校のパンフレット

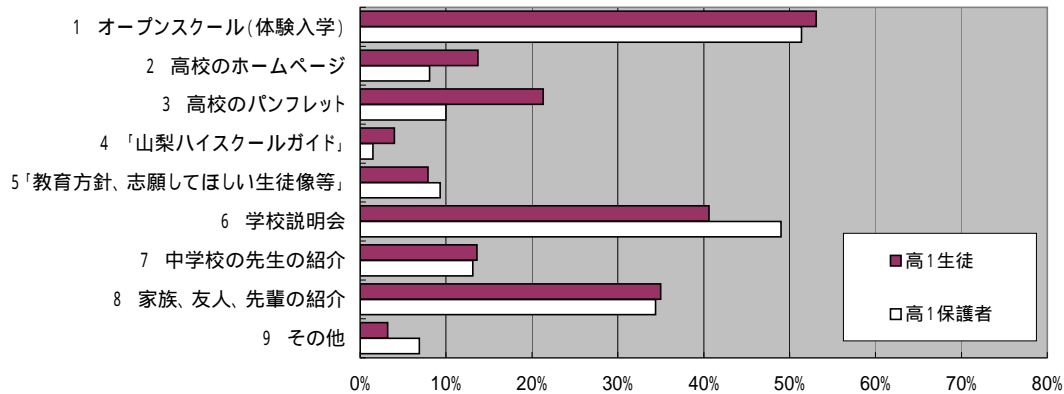
家族、友人、先輩の紹介

「山梨ハイスクールガイド」

その他

「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 オープンスクール(体験入学)	3,511	53.1%	3,383	51.4%	6,894	52.2%
2 高校のホームページ	905	13.7%	532	8.1%	1,437	10.9%
3 高校のパンフレット	1,412	21.3%	661	10.0%	2,073	15.7%
4 「山梨ハイスクールガイド」	267	4.0%	102	1.5%	369	2.8%
5 「教育方針、志願してほしい生徒像等」	520	7.9%	615	9.3%	1,135	8.6%
6 学校説明会	2,682	40.6%	3,226	49.0%	5,908	44.8%
7 中学校の先生の紹介	902	13.6%	860	13.1%	1,762	13.4%
8 家族、友人、先輩の紹介	2,318	35.0%	2,267	34.4%	4,585	34.7%
9 その他	212	3.2%	454	6.9%	666	5.0%
回答なし	27	0.4%	81	1.2%	108	0.8%
回答者数	6,614		6,584		13,198	



【今回の調査結果】

高校を決定する上での参考資料、要因など

今年度の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「オープンスクール」53.1%、次いで「学校説明会」40.6%、「家族、友人、先輩の紹介」35.0%、「高校のパンフレット」21.3%であった。
- ・保護者の回答で多かったのは、「オープンスクール」51.4%、「学校説明会」49.0%、「家族、友人、先輩の紹介」34.4%であった。
- ・生徒、保護者とも、各高校が実施している「体験入学」や「学校説明会」を志願先の決定に際して参考にしている割合が高く、次に「家族、友人、先輩の紹介」となっている。

3年間の傾向

選択肢	平成19年			平成20年			平成21年		
	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計	高1生徒	高1保護者	合計
1 オープンスクール(体験入学)	47.0%	45.4%	46.2%	50.4%	49.9%	50.2%	53.1%	51.4%	52.2%
2 高校のホームページ	12.5%	8.0%	10.3%	12.8%	7.7%	10.3%	13.7%	8.1%	10.9%
3 高校のパンフレット	22.5%	11.5%	17.0%	22.5%	10.9%	16.8%	21.3%	10.0%	15.7%
4 「山梨ハイスクールガイド」	4.2%	1.4%	2.8%	3.5%	1.2%	2.4%	4.0%	1.5%	2.8%
5 「教育方針、志願してほしい生徒像」	10.7%	13.8%	12.2%	7.9%	10.0%	8.9%	7.9%	9.3%	8.6%
6 学校説明会	44.2%	50.1%	47.1%	41.8%	48.5%	45.1%	40.6%	49.0%	44.8%
7 中学校の先生の紹介	14.0%	14.1%	14.0%	14.6%	14.7%	14.7%	13.6%	13.1%	13.4%
8 家族、友人、先輩の紹介	33.2%	31.7%	32.5%	35.5%	33.7%	34.6%	35.0%	34.4%	34.7%
9 その他	3.3%	7.7%	5.5%	3.1%	6.7%	4.9%	3.2%	6.9%	5.0%
回答なし	0.5%	1.1%	0.8%	0.4%	1.3%	0.8%	0.4%	1.2%	0.8%

・調査結果については、毎年度ほぼ同様の結果となっている。

・生徒、保護者共に進路選択に当たり「オープンスクール」や「学校説明会」を活用している。